広報
NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

No.101
4月号
2014
（平成26年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町　検索

今月の内容

平成26年度西和賀町予算概要……2～3P
表彰、入学式……4P
教育表彰、照井清到さん100歳……5P
病院長・教育長決まるほか……6P
錦秋湖50周年記念事業ほか……7P
町内公共機関の異動……8P
行政区長と地域担当職員ほか……9P
地域レーダー……13P
みんなのページほか……15P
お知らせ……16～17P

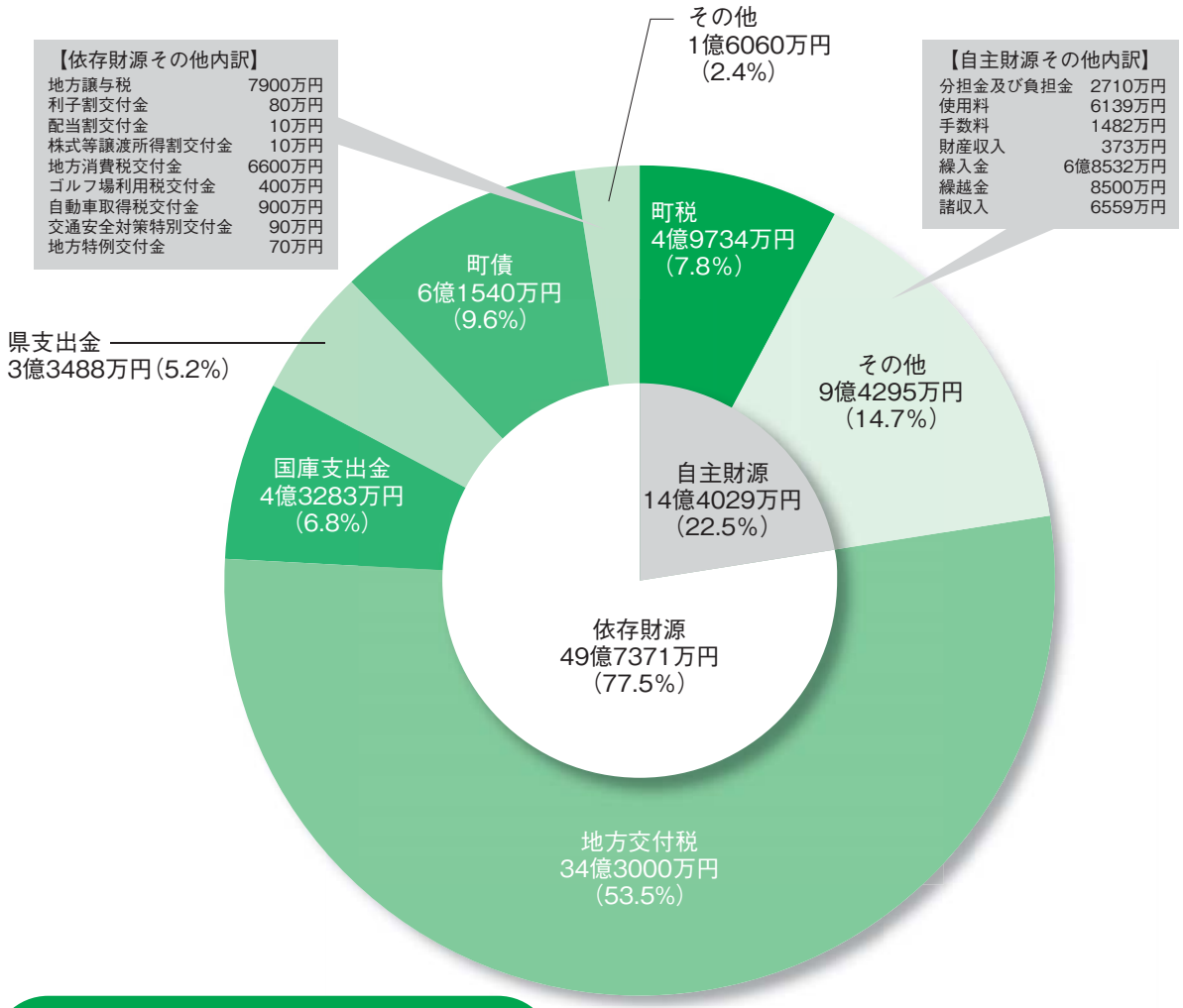
新たな世界への第一歩

4月8日、湯田小学校の入学式には10人の新1年生が。期待と不安を胸にしながらも元気にあいさつ。友達100人できるかな？（関連記事：4P）

平成26年度西和賀町予算が成立

前年度比7億3000万円の減

出の総額は64億1400万円



一般会計歳入

平成26年度予算の概要

3月定例議会が3月5日から19日までの日程で行われ、平成26年度の予算が可決されました。

一般会計の予算額は64億1400万円で、前年度の当初予算と比較して7億3000万円の減。率にすると10・2%の減になりました。町立西和賀さわうち病院の建設工事の進捗による工事費用の減少が大きな要因です。

また8つの特別会計の総額はおよそ35億5763万円で、前年度と比べ1億5191万円の減となりました。これは、国保会計から病院建設事業への繰り出し金が減ったことによる減少が主な要因です。

【歳入・自主財源は14億4029万円】

一般会計の歳入の自主財源は、町税がおよそ5億円、手数料や財産収入などが9億4295万円です。

最も大きな収入で、各自治体の基本的なサービスを維持するために国から交付される地方交付税は34億3000万円です。

町の借金にあたる町債はおよそ6億1540万円で、前年度と比べおよそ6億4870万円の減となりました。

理解を深めるために

一般会計と特別会計とは

一般会計とは、行政運営に必要な基本的な経費を盛り込んだ歳入と歳出の全体を示し、自治体にとってはもっとも規模が大きい会計で重要な会計です。

これに対して、特別会計とは、簡易水道、温泉事業、国民健康保険などのように、料金や保険料などの特定の収入を財源として、特定の目的の事業を行うための会計を指します。

歳入と歳出とは

歳入とは入ってくるお金で収入のこと。歳出とは、出ていくお金で支出のこと。

地方交付税とは

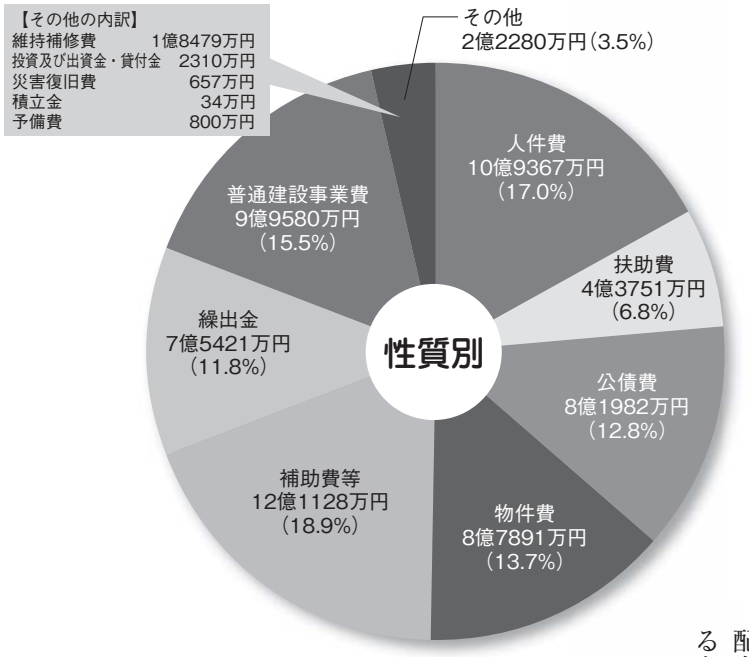
規模の大小にかかわらずどの市町村でも同じような行政事務を行うことができるように、国税（所得税、法人税、酒税、たばこ税など）のそれぞれの一定割合を、一定の基準により国が市町村に交付するもの。

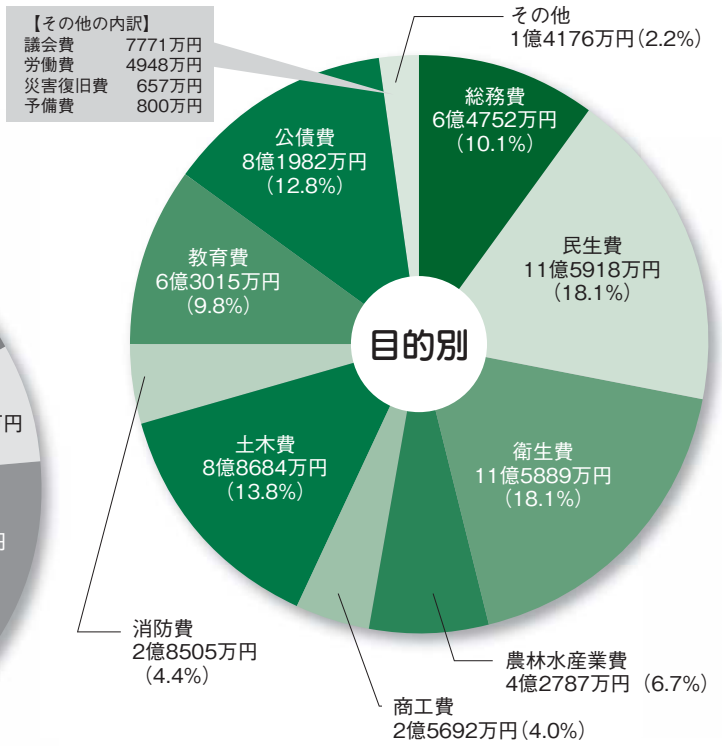
自主財源と依存財源とは

自主財源とは、町民税や法人税などの町税のほか、手数料などを指し、一方の依存財源とは地方交付税や町債、国庫支出金、県支出金などが含まれます。

平成26年度 一般会計予算歳入歳

一般会計歳出





【歳出・補助費に12億1128万円】

一般会計の歳出で最も大きな支出は補助費で、12億1128万円で前年度と比べて10億2637万円の減額となりました。これについても、病院建設への費用が減少となったためです。

次に大きい支出は人件費で、10億9367万円です。前年度と比べて937万円の増となりました。また、繰出金は7億5421万円で1億8150万円の減となっており、簡易水道事業特別会計の簡易水道施設統合整備事業の導・配水管敷設工事費の減少によるものです。

各会計予算の状況

一般会計			64億1400万円
特別会計	国民健康保険特別会計		8億5674万円
	後期高齢者医療特別会計		7677万円
	介護保険特別会計	保険事業勘定	10億7665万円
		介護サービス事業勘定	1291万円
	簡易水道事業特別会計		9億5740万円
	下水道事業特別会計		4億3581万円
	農業集落排水事業特別会計		5055万円
	温泉事業特別会計		9080万円
	合計		35億5763万円
一般会計と特別会計の合計			99億7163万円

沢内病院事業会計	収益的収入	8億0391万円
	収益的支出	8億0391万円
	資本的収入	4億3786万円
	資本的支出	4億3786万円

予算について詳しくは総務課まで

町は、町の予算がどのように使われているか、財政状況はどうなっているかを説明した『西和賀町予算説明書』を作成しています。町のホームページに掲載するほか、総務課窓口で実費にて配布いたします。そのほか、予算の内容や主な事業について詳しく知りたい方は総務課までお問い合わせください。

◆問い合わせ先／総務課 ☎(82)3281

町債（地方債）とは
町が道路整備や建物建築などに充てるため借り入れるお金のこと。

公債費とは
町がこれまでに借り入れた借金を返済するお金。

普通建設事業費とは
道路や公共施設の建設、改修などを行う費用のことを言います。このうち国や県の補助を受けて実施する事業を補助建設事業といい、単独事業は補助の入らない事業を指します。

人件費とは
特別職（町長や議員）、一般職員のほか各種委員などに支払われる費用。
また、特別会計に携わる職員についてはその会計から人件費が支払われるものがあります。

物件費とは
公共施設の燃料、光熱水費や委託料などの費用。

補助費とは
各種団体に対する補助、負担金などに要する経費。

扶助費とは
医療費や児童手当で給付などに充てられる費用。

高橋政志さん（湯田）が男性を救助
北上地区消防組合消防本部より表彰

表彰を受けた高橋政志さん

3月27日、西和賀消防署で消防業務（人命救助）一般協力者の表彰が行なわれました。表彰を受けたのは高橋政志さんで、湯田地内で発生した雪埋もれ事故の際、埋もれた男性をいち早く発見し、救助に多大な貢献をしたことをたたえ、鈴木和夫消防長から表彰状が手渡されました。

事故は、3月9日の14時ころに発生。湯田地内で小屋屋根の雪下ろしのため、はしごを掛け除雪作業をしていた男性の姿が見えなくなったことに気付いた当時町消防団の高橋武男副団長が、近くに住む政志さんに協力を求め現場に急行しました。屋根から雪が落ちていることから雪に埋もれていると判断した2人は、その周辺をスコップで掘り起こしました。間もなく男性を発見し、すぐに救急車で病院に搬送。男性は大きなケガもなく、同日中に帰宅することができました。

鈴木消防長は「町民のみなさんの安全安心になるすばらしい功績。今後とも、地域のために尽力をお願いしたい」と受賞をたたえました。政志さんは「その時は自分も雪かきをしていた。気温が上がっていたので、屋根の雪には注意するようにと話した。しばらくすると屋根の雪がなくなっていたので、もしやと思い武男さんと一緒に落ちた雪の中を探した」と当時を振り返っていました。

岩手県町村監査委員協議会
監査功労者表彰
米澤卓生さんが受賞

米澤　卓生（たくお）さん
（76歳・太田）

町監査委員として在職中の米澤卓生さんが、監査功労者として岩手県町村監査委員協議会表彰を受賞しました。

米澤さんは、西和賀町の誕生時期から監査事務に携わり、新しい町の監査事務の基礎を築きました。自身の経験を監査に生かし、その知識は豊富で着眼点も鋭く、町にとって有意義な意見や指摘をするなど、町行財政の適正運営に大きな貢献が認められ受賞されました。

希望を胸に新しい出発
入学おめでとう

4月3日から8日にかけ、保育施設、町立小・中学校、県立西和賀高等学校でそれぞれ入園・入学式が行われ、新しい春の一歩を踏み出しました。

今年の入園児は、川尻保育園が4人、湯本保育園が7人、新町保育所が2人、せんだん保育所が4人、そして川舟保育所が3人です。

小学校では、湯田小学校で10人、沢内小学校で18人が入学しました。

呼名に返事をする入学生（沢内中学校）

緊張しながらも期待いっぱいの新入生（湯田小学校）

10人の新入生を迎えた湯田小学校の入学式は、4月8日に行われました。式で白石健也校長が「1年生の皆さんに守ってもらいたいこと。元気にあいさつをすること。交通事故に気をつけること。早寝、早起き、朝ごはん。この3つを守って、がんばりましょう」と新入生と約束をしました。

また、4月5日に行われた中学校の入学式では、湯田中学校が20人、沢内中学校が19人、4月8日に入学式が行われた県立西和賀高校では50人が入学しました。

平成25年度教育委員会表彰・体育協会表彰

3月25日、太田老人福祉センターで平成25年度西和賀町教育委員会表彰式並びに西和賀町体育協会表彰式が行われました。

教育委員会表彰は、学校教育や体育振興など顕著な活躍・活動で町民に大きな活力を与えた者の功績をたたえるために行われています。また体育協会表彰は、町体育協会（高橋謙治会長・新町）が協会の発展や地域スポーツ振興への尽力、各種大会で優秀な成績をおさめた選手をたたえています。

受賞者を代表し、社会教育委員として社会教育の発展と教育行政の進展に貢献した菅原洋一さん（左草）が「表彰していただいたことは喜ばしく、誇りに思います。これからの西和賀町の発展のために微力ながらも貢献できるよう、気持ちが引き締まる思いです」と感謝の意を述べました。

前列左から、及川美佳さん、高橋伽奈さん、田中風花さん、菅原洋一さん
後列左から、髙橋武雄さん（代理:野澤涼子さん）、照井貴子さん（代理：照井サキ子さん）、高橋貞夫さん、菅原義美さん

【受賞者紹介】 ※学校名・学年は受賞当時、敬称略、順不同

◆教育委員会表彰

菅原　洋一（左草）
昭和62年4月から平成25年3月まで26年間、社会教育委員として本町社会教育の発展に尽力。特にも、農政や青少年問題、男女共同参画などの分野で活躍し、教育行政の進展に大きく貢献しました

田中　風花（沢内中学校3年・川舟）
第63回岩手県中学校スキー大会クロスカントリー競技女子3㎞フリー優勝
第51回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技女子リレー10位

高橋　伽奈（西和賀高校3年・北上市）
第28回国民文化祭「文芸祭現代詩大会」日本現代詩人会会長賞

及川　美佳（西和賀高校3年・北上市）
第３回「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」警視庁給与厚生課長賞

◆体育協会表彰・功労賞

髙橋　武雄（西和賀山岳会・湯本）
永年にわたり、山岳会の会長として協会の発展に寄与。町主催の山開きへの協力や町民登山の主催など、町民の体力向上や登山人口の底辺拡大に多大な貢献をしました

髙橋　貞夫（町グラウンド・ゴルフ協会）
気軽にできる生涯スポーツの一つとして、協会の立ち上げ、施設整備を行い愛好者を増やし、会長として会員相互の調和を図り、各種大会開催や普及活動に努めるなど多大な貢献をしました

菅原　義美（町スキー協会・野々宿）
永年にわたり、スキー協会の役員として協会の発展に寄与。小・中学生やスポーツ少年団の指導に尽力されるとともに、スキー人口の底辺拡大に多大な貢献をしました

◆体育協会・優秀選手賞

照井　貴子（町陸上競技協会・長瀬野）
第65回岩手県民体育大会　成年女子７部10000ｍ競歩優勝

田中　ゆかり（旭川大学高校３年・新町）
第63回全国高校スキー大会クロスカントリー競技５㎞フリー準優勝、クラシカル5位
全日本選手権距離女子30Ｋｍフリー３位、ノルディックスキー世界ジュニア大会出場

田中　風花（沢内中学校３年・川舟）
第63回岩手県中学校スキー大会クロスカントリー競技女子３㎞フリー優勝
第51回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技女子リレー10位

これからもお元気で
照井清到（せいとう）さんが100歳

介護老人保健施設清水苑に入所している照井清到さんが１００歳を迎え４月17日、細井町長が訪問し、お祝い状と記念品が贈られました。

清到さんは大正３年４月17日、新町生まれ。昭和９年に裁判所書記登用試験に合格し、昭和46年の退官までの間、盛岡地方法務局供託、訴訟、総務課長などの要職を務められました。

退官後は、大野に司法書士事務所を開業、まちの法律家として人々の生活を支える仕事を生業とし、また人権擁護委員の任を受け人権相談や人権侵犯の監視などに尽力されるなど、その功績により昭和63年に勲五等双光旭日章を授章されました。

「男性で１００歳を迎えられているのは清到さんだけです。今後も元気で長生きしてください」と細井町長からのお祝いのことばに、照井さんは「清水苑のみなさんに良くしてもらい、１００才を迎えることができた。本当にありがたい」と話していました。

施設の食事では好き嫌いなく何でも自分で食べ、記憶もはっきりしていて、元気いっぱい楽しんでいるそうです。

お祝いにかけつけた家族と一緒に記念写真

新病院長を任命 医師3人体制に

◆病院長に北村道彦先生、内科医長に千田英之先生着任

北村　道彦（みちひこ）
病院長

千田　英之（ひでゆき）
内科医長

4月2日付けで、沢内病院の病院長に北村道彦先生が任命されました。

北村病院長は、宮城県加美町出身で、専門は外科。各地の病院勤務を経て、秋田大学医学部第2外科助教授をはじめ、県立胆沢病院副病院長心得兼外科長、統合前の旧北上病院、花巻厚生両病院の統括副院長、統合開院した県立中部病院の初代病院長などを歴任しました。

また、4月1日付けで、沢内病院の内科医長として千田英之先生が着任しました。

千田先生は岩手県の派遣医師として、県立宮古病院から着任。派遣期間は1年間です。

これにより、沢内病院の診療は、外科の須原誠副院長を含めた医師3人体制で行なうほか、これまでどおり他院からの応援を受けながら行なわれます。

教育長に船田さん 教育委員に加藤さん

船田　浩
教育長

加藤　和夫
教育委員

4月1日に湯田庁舎で行われた教育委員会議で、任期満了により空席となっていた教育長に船田浩さん（北上市）が互選されました。任期は4月1日から4年間となります。

船田教育長は、1986年4月に黒沢尻東小学校教諭となり、97年～2000年まで旧湯田町教育委員会で社会教育主事として勤務。洋野町立角浜小学校教頭・副校長、県立生涯学習推進センター生涯学習部長、県教育委員会生涯学習文化課生涯学習担当課長などを歴任されました。

3月19日に沢内庁舎議場で行われた定例議会で、欠員が生じていた教育委員に新たに加藤和夫さん（新町）が選任されました。任期は4月1日から4年間となります。

消防団長

◆糯田勉さん（川尻）を再任

糯田　勉
消防団長

町消防団は、消防団幹部の任期満了に伴い、団長に糯田勉さんを再任しました。任期は、4月1日から3年間です。

人権擁護委員

◆髙橋範子さん（槻沢）を選任

新たな人権擁護委員として、槻沢の髙橋範子さんが国から委嘱を受けました。

人権擁護委員は、基本的人権が侵犯されることを監視し、侵犯された場合はその救済のために適切な処理をする仕事をしています。任期は3年間で、自宅や電話での相談にも応じています。相談は無料で、秘密は厳守されます。

町内では髙橋範子さんのほかにも藤原忠正さん（川尻）、和泉昭さん（鍵飯）、髙橋千賀子さん（川舟）も人権擁護委員として任命されています。お気軽にご相談ください。

◆問い合わせ先／町民課☎(85)2111

婦人消防協力隊 連絡協議会会長

◆佐々木雪恵さん（太田）が就任

佐々木雪恵
会長

町婦人消防協力隊連絡協議会は、任期満了による役員選任を行い、会長に佐々木雪恵さんが就任しました。任期は4月1日から3年間です。

第2期地域おこし協力隊員を委嘱

森陽平さん

村上彰さん

4月1日付けで、地域おこし協力隊員として森陽平さんと村上彰さんを委嘱しました。

森さんは東京都西東京市、村上さんは山形県山形市の出身。2人とも銀河ホール学生演劇合宿事業で訪れたことがきっかけになったそうです。

地域おこし協力隊は総務省が行う事業で、人口減少や高齢化等が著しい地域に、地域外から人材を誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地位気力の維持や強化を図ることを目的としています。

湯田ダム建設から50年
「錦秋湖（湯田ダム）50周年」記念事業

錦秋湖や和賀川のもつ資源を観光や住民生活に有効利用するため、平成25年9月30日に錦秋湖及び和賀川活用に関する検討委員会（早川久衛会長）が設置されました。この会は、平成26年度に錦秋湖（湯田ダム）が完成50周年を迎えることから、「新たな観光づくり」や「住民が利用しやすい環境をつくる」ためのきっかけとする50周年記念事業について検討する組織として、町観光協会が商工会や地区協議会、北上信用金庫などの関係機関に呼びかけて結成されたものです。

委員会設置以来協議が重ねられ、3月26日の会議で記念事業の取組み内容が決まりました。その概要は左わくのとおりです。

●錦秋湖及び和賀川活用に関する検討委員会
5月中旬　錦秋湖観光利用ボート調査（～6月上旬）
7月中旬　錦秋湖ビューポイント調査
7月中旬　貯砂ダム愛称募集（～8月中旬）
9月下旬　錦秋湖（湯田ダム）50周年記念・交流会
貯砂ダム愛称公表式
和賀川の恵み・食フェスタ2014
貯砂ダムライトアップ調査

●西和賀町
湯田ダム50周年記念テレビ番組制作

●錦秋湖湖水まつり実行委員会（西和賀商工会）
湖水まつり花火打ち上げ筏更新

●湯田温泉峡旅館組合
全国大学生演劇・美術大学

●西和賀淡水漁業協同組合
和賀川「鮎やな」調査

●湯田ダム管理支所
湯田ダムライトアップ
上下流交流和賀川子ども探検会
錦秋湖名称看板設置

◆問い合わせ先／西和賀町観光協会☎(82)1135

◀西和賀高校生がデザインした記念事業のロゴマーク

耳取区、草井沢区、鷲之巣区が統合して天ヶ瀬区に

耳取区、草井沢区、鷲之巣区の3行政区は、人口や世帯の減少などにより、機能維持や自治組織活動のあり方について問題提起されていました。この問題を検討するため、平成25年6月18日に耳取・草井沢・鷲之巣地区行政区統合検討委員会が設立され、第3回目の会議で統合後の組織運営と運営負担などについて考えがまとまり、統合準備に進むことを決定しました。

統合準備は、11月1日に第1回の耳取・草井沢・鷲之巣地区行政区統合準備会が開催され、委員15人の組織により駒ヶ嶺能弘さん（耳取）を会長に選任して協議が始まりました。主な協議事項は、行政区の名称、協議会組織の仕組み、班編成や班長業務、初年度となる平成26年度協議会事業計画・予算（案）など。行政区の名称は、耳取区でのアンケートで半数が回答し、また過去の行事等で3地区の総称として使用した経緯などから、「天ヶ瀬区」と選定し、3月18日の第9回会議まで協議が重ねられ準備会での検討を終えました。

そして、3月23日に天ヶ瀬区運営協議会設立総会が開催され、協議会規約や常任委員、平成26年度事業計画・収支予算などを決定し、4月1日から3行政区が統合した全67世帯の「天ヶ瀬区」がスタートしました。

子ども文庫100冊贈呈

読書ボランティア活動をしているグループ「おはなしきらきら」（山本正子会長・川尻）が、日頃の児童に対する読書啓発が青少年の健全育成のためにきわめて意義があると認められ、3月5日に伊藤忠記念財団子ども文庫助成事業による子どもの本100冊の贈呈を受けました。

子ども文庫助成事業は、公益財団法人伊藤忠記念財団が行う子ども文庫活動に対する助成で、昭和50年より子ども達の読書啓発活動に携わるボランティアを支援しているものです。

「おはなしきらきら」は、読書ボランティア活動のほか、地域の民話を手作り紙芝居にして伝える取組みやおはなし会といった活動を行っています。贈呈された本は、子どもの読書や読み聞かせ活動に役立てられます。

贈呈された本を前にする「おはなしきらきら」のみなさん

町内公共機関の人事異動（敬称略）

■西和賀町（職名のGLはグループリーダー、カッコ内は前職名です）

▽総務課長（農林課長）**佐藤幸弘**▽農林課長（農林課副主幹兼農政企画GL）**泉川道浩**▽総務課主査兼庶務・財政GL（教育委員会事務局学務課主査兼学務GL）**照井哲**▽農林課主査兼農政企画GL（建設課主査兼建設・土木GL）**真壁一男**▽建設課主査兼建設・土木GL（議会事務局主査）**小林英介**▽保健福祉課副保健師長兼保健GL（同課主任保健師）**中野真理**▽総務課主査（観光商工課主査）**内記良伸**▽政策推進室主査（県南広域振興局経営企画部産業振興課）**加藤一幸**▽観光商工課主査（同課主任）**藤田美知樹**▽政策推進室主査（同室主任）**石川茅**▽農林課主査（同課主任）**高橋和哉**▽総務課主任（政策推進室主任）**佐藤達也**▽建設課主任（税務会計課主任）**高橋竜也**▽保健福祉課主任（町民課主任）**佐々木順子**▽保健福祉課主任（町民課主任）**新田賢一**▽医療保険室主任（総務課主任）**東清彦**▽観光商工課主任（岩手中部広域行政組合）**佐々木一成**▽町民課主任（沢内病院事務室主任）**内記孝洋**▽町民課主任（税務会計課主任）**小林夕子**▽総務課主任（町民課主任）**大島広美**▽農林課主任技師（建設課主任技師）**佐々木久和**▽税務会計課主任（保健福祉課主任）**赤石広光**▽総務課主任（同課主事）**内記杏**▽建設課主任技師（同課技師）**佐藤舞**▽建設課主任自動車運転手（教育委員会学務課事務局主任自動車運転手）**有馬治**▽町民課主任用務員（教育委員会旧川尻小学校主任用務員）**佐々木エリ子**▽総務課主任（再任用）**高橋達**▽観光商工課主事（新採用）**北島寛哉**▽岩手中部広域行政組合派遣（医療保険室主任）**高橋毅**▽釜石市派遣（総務課主任）**高橋良栄**▽西和賀町観光協会派遣（再任用）**菅原利明**

■川舟保育所

▽主任調理員（せんだん保育所主任調理員）**深沢良江**▽保育士（新採用）**高橋瑠璃**

■せんだん保育所

▽所長（同所副所長）**黒渕真貴子**▽副所長（川舟保育所上席主任保育士）**加藤恵子**▽主任調理員（新町保育所主任調理員）**佐々木直子**▽主任保育士（再任用）**村上順子**▽保育士（新採用）**戸田遥**

■新町保育所

▽主任調理員（川舟保育所主任調理師）**石川美佐子**

■沢内病院

▽病院長（新採用）**北村道彦**▽内科医長（岩手県立宮古病院医長）**千田英之**▽検査科主任臨床検査技師（新採用）**川口一樹**▽看護科看護師（新採用）**福来敬史**▽検査科診療放射線技師（新採用）**小倉巧也**▽事務室主任（総務課主任）**高橋祐征**▽事務室主任（同室主事）**加藤大智**

■議会事務局

▽事務局主任（保健福祉課主任）**加藤信彦**

■農業委員会事務局

▽事務局主事（新採用）**田中克哉**

■教育委員会事務局

▽生涯学習課長（総務課副主幹兼庶務・財政GL）**加藤真喜子**▽学務課主査兼学務GL（生涯学習課主査）**柳沢里美**▽学務課主査（農林課主査）**吉田祐康**▽学務課主任自動車運転手（農林課主任管理員）**刈田敬**▽生涯学習課主事（新採用）**佐々木毬巴**

■湯田中学校

【転出】▽副校長・**土井祐之**（北上市立飯豊中学校副校長）▽教諭・**皆方敦**（北上市立北上北中学校教諭）

【転入】▽副校長・**髙橋恵美**（一戸町立奥中山中学校副校長）▽教諭・**山崎雄児**（北上市立和賀東中学校教諭）▽教諭・**中村隆一**（宮古市立第一中学校教諭）

■沢内中学校

【転出】▽校長・**森川静子**（二戸市立二戸西小学校校長）

【転入】▽校長・**佐野理**（盛岡教育事務所主任経営指導主事）

■湯田小学校

【転出】▽教諭・**遠藤公**（奥州市立広瀬小学校教諭）▽教諭・**小原明子**（釜石市立小佐野小学校教諭）

【退職】▽教諭・**岩下恵子**

【転入】▽教諭・**小田嶋正彦**（北上市立黒沢尻東小学校教諭）▽教諭・**三上真智子**（北上市立黒沢尻東小学校教諭）▽教諭・**後藤孝一**（北上市立和賀西小学校教諭）▽栄養教諭・**由利綾香**（新採用）

■沢内小学校

【転出】▽教諭・**牛抱あけみ**（滝沢市立一本木小学校教諭）

【転入】▽教諭・**武田洋子**（滝沢市立滝沢東小学校教諭）

■県立西和賀高校

【転出】▽副校長・**熊谷渉**（遠野高校副校長）▽事務長・**照井知二**（雫石高校事務長）▽教諭・**松平日出男**（盛岡第三高校教諭）▽教諭・**遠藤豊喜**（杜陵高校教諭）▽教諭・**五十嵐誠**（黒沢尻工業高校教諭）▽養護教諭・**谷﨑美恵子**（黒沢尻工業高校養護教諭）▽講師・**坂本香織**（久慈東高校講師）

【退職】▽教諭・**武田洋子**

【転入】▽副校長・**笠水上訓正**（杜陵高校教諭）▽事務長・**多田悦博**（県商工労働観光部）▽教諭・**兵藤一仁**（盛岡市立高校教諭）▽教諭・**藤井学**（宮古商業高校教諭）▽養護教諭・**及川明奈**（宮古北高校養護教諭）▽講師・**佐々木恒哉**（専修大学北上高校講師）▽講師・**佐々木健太**（田野畑中学校講師）▽実習助手・**村松貴広**（盛岡農業高校実習助手）

■北上警察署湯田駐在所

【転出】▽巡査長・**齋藤直之**（二戸警察署晴山駐在所）

【転入】▽巡査・**佐々木裕規**（北上警察署常盤台交番）

■中央農業改良普及センター西和賀普及サブセンター

【転出】▽上席農業普及員・**佐々木洋一**（久慈農業改良普及センター普及課長）▽主査農業普及員・**永富巨人**（県農業研究センター主査専門研究員）

【昇任】▽上席農業普及員・**佐藤千秋**（主査農業普及員）

【転入】▽主査農業普及員・**石川輪子**

行政区長と地域担当職員の紹介

町は、行政区と地域が対等な立場で責任を共有し、役割を明確にしながらまちづくりを勧めていく地域自治活動支援事業を行っています。この事業は「地域づくり活動支援交付金制度」と「地域担当職員制度」の2つを柱として、地域ごとに異なる課題を人的・資金的な面から支援しています。

行政区長が変わった地区や、4月の人事異動にともない地域担当職員も変わりましたのでお知らせします。

◆問い合わせ先／総務課☎82－3281

行政区	区長名	担当職員名			
		主担当		副担当	
貝沢区	吉田信夫	政策推進室	畠山幸雄	観光商工課	藤田美知樹
若畑区	藤原輝夫	政策推進室	髙橋三智昭	総務課	吉田博樹
川舟区	髙橋定雄	総務課	髙橋松夫	学務課	吉田祐康
長瀬野区	髙橋久男	生涯学習課	加藤真喜子	税務会計課	新田由香里
泉沢区	田中正彦	保健福祉課	髙橋かの子	保健福祉課	中野真理
弁天区	髙橋久雄	医療保険室	佐々木一	生涯学習課	髙橋光世
猿橋区	佐々木博	税務会計課	髙橋智昭	町民課	皆方博
太田区	照井國雄	議会事務局	深澤千里	医療保険室	深澤早苗
鍵飯区	刈田昭一	農業委員会	内記和彦	医療保険室	東清彦
前郷区	髙橋弘	税務会計課	内記忠	議会事務局	泉川真澄
新町区	佐藤政信	観光商工課	為田美代子	農林課	北島克人
大野区	石川嘉久	農林課	泉川道浩	税務会計課	川本陽子
東大野区	髙橋義雄	学務課	内記博悦	総務課	内記良伸
左草区	橋本烈	農林課	宇都宮清美	総務課	佐藤達也
下前区	畠山繁美	総務課	佐藤幸弘	農林課	髙橋千賀子
湯田区	髙橋信廣	建設課	柏崎繁美	税務会計課	小川幸
湯本区	家子勝也	病院事務室	小林雅彦	農業委員会	早川求
槻沢区	髙橋利美	保健福祉課	刈田哲彦	保健福祉課	髙橋留美子
湯之沢区	髙橋重一	建設課	小林英介	町民課	髙橋茂和
川尻一区	刈田彬	総務課	小松重貴	総務課	藤島和
川尻二区	髙橋成	医療保険室	佐藤里美子	観光商工課	高橋直幸
上野々区	照井勝利	税務会計課	米沢典子	保健福祉課	高橋高行
天ヶ瀬区	駒ヶ嶺能弘	農林課	真壁一男	学務課	小田島満成
湯川区	髙鷹義一	町民課	髙鷹仁	包括支援センター	藤原まゆ子
小繋沢区	髙橋徳幸	観光商工課	佐藤太郎	学務課	柳沢里美
越中畑区	伊藤清見	観光商工課	菊池一治	農林課	髙橋和哉
白木野区	小田島幹夫	町民課	菅原久美子	医療保険室	髙橋寛
野々宿区	髙橋典夫	建設課	髙橋弘務	建設課	菊池輝昌
柳沢区	髙橋修	税務会計課	田村初子	総務課	照井哲

※主担当は課室長（事務局長、事務長）、副主幹、主査　　副担当は副主幹、主査、主任

（県立農業大学校講師）▽主任農業普及員・**菅原聡**（盛岡農業普及センター主任農業普及員）

■北上川ダム統合管理事務所湯田ダム管理支所

【転出】▽管理係員・**佐藤真也**（酒田河川国道事務所）▽電気通信係員・**伊藤秀樹**（東北技術事務所）

【転入】▽専門員・**中嶋稔**（鳴瀬川統合開発調査事務所）▽電気通信係員・**茂木雅迪**（北上川統合管理事務所管理第三課）

■西和賀消防署

【転出】▽副署長・**伊藤良之**（本部予防課課長補佐）▽湯田出張所長・**髙橋克哉**（本部指令室指令第二係長）▽消防司令補・**石川力一**（北上消防署）▽消防士長・**八重樫友和**（北上消防署）▽消防士・**及川敬三**（北上消防署）▽消防士・**中嶋陽**（北上消防署）▽消防士・**小田島健介**（北上消防署）

【昇任】▽副署長兼予防係長・**佐藤泰洋**（当直1部長）▽当直2部長・**髙橋啓一**（当直2部長兼警防係長）▽庶務係長・**多田秀幸**（庶務係主任）▽警防係長・**名須川保**（警防係主任）▽湯田出張所長・**佐々木忠雄**（庶務係長）▽警防係主任・**北島初**（消防司令補）

【転入】▽当直1部長・**髙橋智志**（大堤出張所長）▽消防士長・**山田純哉**（北上消防署）▽消防士長・**昆野秀彦**（和賀中部分署）▽消防副士長・**髙橋勝広**（北上消防署）▽消防副士長・**髙橋英伸**（北上消防署）▽消防士・**藤原裕司**（北上消防署）▽消防士・**若狭知也**（北上消防署）

税務会計課からのお知らせ

特別徴収制度について

事業主のみなさん、「所得税は源泉しているけれど、住民税は徴収していない」ということはありませんか？

従業員から所得税を源泉徴収している場合は、従業員の個人住民税を特別徴収（給与天引き）することが法律により義務づけられています。

岩手県と県内市町村は個人住民税を特別徴収による納付を徹底し、平成27年度には特別徴収に一斉切替えする取組みを進めています。

○次の条件を満たす場合は特別徴収の対象となります

- 給与から所得税が源泉徴収されている
- 住民税が課税されている
- 4月1日現在で給与の支払を受けている（ただし、5月31日までに退職予定の人は対象外です）
- 給与が毎月支給されている

○特別徴収になると

個人住民税を自身で納める普通徴収は、納期が年4回ですが、特別徴収は年12回ですので、1回分の納付額が少額になり負担が少なくなります。また、毎月の給与から差し引かれるため、納め忘れることがありません。特別徴収する住民税額計算は町が行いますので、所得税のように事業主が計算する手間はかかりません。

○特別徴収の手続きについて

特別徴収開始の手続きやより詳しい説明をご希望される場合は、税務会計課住民税担当にお問い合せください。

住民税の特別徴収を実施している事業主の皆様へ

町は平成26年度住民税の課税準備をすすめており、退職や就職、転勤により特別徴収または普通徴収（自身で納める方法）に切り替わる人の把握をする必要があります。

就職や転勤により、新たに勤めることとなった人、または5月31日までに退職する人がいる場合は、事前に税務会計課住民税担当にご連絡の上、異動届出書の提出をお願いします。

軽自動車税を減免します

次の内容に該当する場合は、申請することで軽自動車税が減免になる場合がありますのでお知らせします。

①身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者や戦傷病者（以下障がい者等と言う。）が所有し、本人が運転する車両

②障がい者等が所有し、その障がい者等と生計をともにする人が、その障がい者等の通院や仕事のために運転する車両

③障がい者等が所有し、その障がい者等を常時介護する人が運転する車両（この場合は世帯全員が障がい者等であることが条件になります。）

④18歳未満の身体障がい者、または精神障がい者、若しくは知的障がい者（以下、身体障がい者等と言う）と生計をともにする人が所有し、その身体障がい者等の通院や仕事のために運転する車両

⑤車両の構造がもっぱら身体障がい者などの利用に供するため車両

⑥公益法人が所有し、公益のため直接専用するものと認められる車両など（複数車両申請可）

［提出書類］

①軽自動車税減免申請書②平成26年度軽自動車税納税通知書③身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・戦傷病者手帳④自動車運転免許証⑤自動車車検証⑥印鑑⑦公益法人の場合は①と②と⑤のほか定款の写しと車両の使用実績書

［申請方法］

②以下の書類を準備し、町民課窓口か税務会計課窓口まで申請にお越しください。申請書は各窓口に用意しております。これまでに減免を受けていた人で、今年度申請される人も手続きが必要です。

●申請期限／平成26年5月26日(月)

家屋全棟調査について

町は、平成25年度から家屋全棟調査を実施しています。

家屋全棟調査とは、町内にある全ての家屋について、家屋課税台帳に登録されている事項（所在・種類・用途・構造・床面積など）と実在する家屋を比較し、増改築や未調査による課税もれ、または取り壊し済みの家屋を調査するもので、既に課税されている家屋との公平を期し、適正な課税をめざすものです。

平成26年度の調査予定地区は概ね次のとおりですが、調査対象の増減により変更になる場合や、新築や滅失等がある世帯は予定地区外でも調査することがあります。

調査を実施する一ヶ月前を目途に行政区単位でお知らせします。

［平成26年度調査予定地区］

- 旧沢内地区―川舟、泉沢、長瀬野、両沢、弁天、猿橋
- 旧湯田地区―湯田、穴明、間木野、槻沢、湯之沢、大沓

平成26年度納期限日一覧

各税の納付には、便利な口座振替をご利用ください。また、すでに口座振替を申し込んでいる人は、残高不足の振替不納にご注意ください。その場合、再振替はできませんので、振替不納通知が届いた場合には、同封の納付書ですみやかに納付してください。

	町・県民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税 介護保険料（普通徴収） 後期高齢者医療保険料
5月		全期・1期（6月2日）	全期（6月2日）	
6月	全期・1期（6月30日）			
7月		2期（7月31日）		1期（7月31日）
8月	2期（9月1日）			2期（9月1日）
9月				3期（9月30日）
10月	3期（10月31日）			4期（10月31日）
11月				5期（12月1日）
12月		3期（12月25日）		6期（12月25日）
1月	4期（2月2日）			7期（2月2日）
2月		4期（3月2日）		8期（3月2日）

［納付書の配布］　○固定資産税・軽自動車税…5月　○町・県民税…6月
○国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料…7月

◆問い合わせ先／税務会計課
- 課税窓口グループ　☎(82)3282
- 収納グループ　☎(82)3283

花巻税務署からのお知らせ

酒類を製造しようとする場合には、酒税法に基づき、製造しようとする酒類の品目別に、製造場の所在地の所轄税務署長から製造免許を受ける必要があります。

西和賀町は平成１８年３月に構造改革特別区域法の規定により、いわゆる「どぶろく特区」に認定されました。

特区に認定されても、酒類を製造する場合は、花巻税務署長から酒類製造免許を受ける必要があり、**「特区内だからといって免許を受けないで、誰でも自由に酒類を製造できる。」というものではありません。**

酒類製造免許を受けずに酒類を製造した場合、または、酒類製造免許を受けずに製造された酒類（密造酒）を所持し、譲り渡し、または譲り受けた場合は、処罰の対象となります。

○酒類製造免許を受けないで酒類を製造する行為は処罰の対象です。

○「自分の家で飲むため」など、理由の如何は問いません。

※所轄税務署長から酒類製造免許を受けずに酒類を製造した場合には、１０年以下の懲役または１００万円以下の罰金に処せられます。

○酒類製造免許を受けないで製造された酒類を、譲り渡しまたは譲り受ける行為も処罰の対象です。

※酒類製造免許を受けずに製造された酒類（密造酒）を所持し、譲り渡しまたは譲り受けた場合には、１年以下の懲役または５０万円以下の罰金に処せられます。

詳しくは、盛岡税務署　酒類指導官（☎019-622-6141 内線2607）までお問い合わせください。
※電話でお問い合わせの際は、音声案内で「２番」を選択後、内線番号をお伝えください。

水道の漏水発生は、早めにご連絡を!!

冬期間の水道料金や下水道料金は、水道のメーターボックスを開けることができないため、推定計算（詳しくは平成26年1月広報をご覧ください）をしています。雪解け後に、水道のメーターボックスを確認して、料金の精算を行います。

例年、冬期間明けに水道検針を行うと、漏水が疑われるケースが多く見受けられます。その原因としては、不凍栓などの止水栓が積雪や凍結の影響で蛇口や配管が破損したといったことがあげられます。漏水を放置していると、使用者にとって過大な料金の負担につながることにもなってしまいます。万が一、毎月の検針の際に皆さまのところにお届けする「水道使用量のお知らせ」（検針票）に著しく過大な水量が記載されていた場合、または自分で漏水を発見し、業者に修理をしてもらった場合には、直ちに建設課水道料金担当までご連絡くださいますようお願いします。（漏水であることが明らかになった場合、水道料金等の調整をさせていただきます）

皆様のご協力により貴重な水資源を大切にしましょう。

◆**お問い合わせ先**／建設課　公営事業グループ水道料金担当☎(82)３２８９

病児保育所『キッズルームにしわが』からのお知らせ

キッズルームにしわがでは、一時的な病気で家庭または保育所(園)や学校の集団での保育が困難な園児・児童を仕事の都合やその他の理由により、家庭で保育ができない保護者に代わって保育・看護します。

●対象児童

生後11ヶ月～小学校3年生までの病気にかかっている児童

●開所日

月曜日～土曜日　8時～18時まで(日曜祝日、年末年始、お盆は閉所)

●利用料

町内に住民登録のある人は自己負担額1000円(半日利用は半額)町外の人は自己負担額2000円(半日利用は半額)となります。

●事前登録が必要です

はじめに、「にしわが利用登録申込書」により利用者登録をしてください。前年度に登録をしている人でも新たに登録する必要があります。登録申込用紙は、「キッズルームにしわが」、「さわうち協立診療所」にあります。

●子どもが病気にかかってしまった場合

かかりつけ医師の診察を受け、病名と処方薬を確認してください。さわうち協立診療所以外で受診してもお預かりします。他の医療機関を受診しても、一度さわうち協立診療所で診察しますが、この場合、診療代はかかりません。

●利用するときは予約が必要です

8時～9時まで☎(85)3101(さわうち協立診療所)
9時～18時まで☎(72)6815(キッズルームにしわが)

●利用時にご持参ください

印鑑、保険証、母子手帳、昼食(おやつ等)、内服薬(処方内容の説明書も)、着替え、食事用のエプロン、口拭きタオル(年齢により、ミルク・哺乳瓶、紙オムツ、おしり拭き等)

※利用に関しては、さわうち協立診療所またはキッズルームにしわが、役場保健福祉課(☎(85)3412)へお問い合わせください。

西和賀町社会福祉協議会からのお知らせ

西和賀町社会福祉協議会では未就園児と母親が一同に会して、育児の悩みの共有や仲間作りを目的とした『子育てサロン』を毎月1回開催しています。

●5月の開催について

- **日時**　5月21日(水)10時～
- **場所**　焼地台公園　10時に公園の駐車場に集合してください。
- **内容**　公園内をハイキングします。(雨天時は銀河ホールに集合してください)
- **費用**　一家族200円を負担していただきます。(おやつ等)

※詳しくは、西和賀町社会福祉協議会☎(85)3225

新病院名は「町立西和賀さわうち病院」

3月19日に開かれた町議会3月定例会の最終本会議で、名称変更に伴う病院関連条例の一部改正に関する議案が原案のとおり可決されたことにより、今秋の開院を予定している新病院の名称が「町立西和賀さわうち病院」に決定しました。

新病院の名称については、平成25年6月から8月にかけ、町内に住んでいる人を対象に名称公募を行なったところ、応募が189点ありました。応募が多かったものは「沢内病院」「西和賀病院」「深沢晟雄記念病院」などで、「西和賀」または「にしわが」、「沢内」または「さわうち」を含む名称が多数寄せられました。

応募された名称は、西和賀町保健調査会や国保運営協議会で集計結果を公表し、各会の委員からの意見を踏まえ、関係部署の長で組織する庁内検討委員会で検討を行なってきました。

検討委員会での意見を集約し、次の理由で町が名称を決定後、3月議会に提出し正式に決定されたものです。

①「西和賀」という自治体名と、生命尊重の歴史ある「沢内」に多数の応募が寄せられたことから、それぞれに寄せられた町民の強い想いを重く受け止める。
②「町立」を冠し、町が責任を持って町民の生命と健康を守ることを使命とする。
③長年親しまれた「沢内」の名を残しつつ、「さわうち」とひらがなにすることで、やさしさや親しみやすさを内外に発信していく。
④保健・医療・福祉の連携を進め、西和賀地域の包括支援体制を構築させるべく、地域医療の中核となる「病院」を目指し、病院機能の更なる充実に努める。

◆問い合わせ先／沢内病院☎(85)3131

日頃の疲れを癒す心の復興を

温泉・観劇ツアーに招待

観劇した舞踊劇「遠野物語」

３月23日、震災支援・チームにしわが協議会（太田宣承会長・太田）が主催する「西和賀・温泉&観劇ツアー」が、東日本大震災で被災された陸前高田市のみなさん約80人を招待し行なわれました。

今回のツアーは、震災以降交流のある同市で、今なお不自由な仮設住宅に住んでいる方々の苦労や心労を労い、心の復興を目的に開催されたもので、沢内バーデンでの入浴や町民との交流のほか、銀河ホールで秋田県仙北市の劇団わらび座による舞踊劇「遠野物語」の鑑賞を行ないました。

太田会長は「仮設住宅の生活は大変辛いとの話を聞いている。温泉に浸かり、演劇を鑑賞することで、気持ちを新たにがんばってほしい」と話していました。

匠の手で今年も衣替え

日本一大きいワラ人形

小繋沢の結ハウス前にある大きなワラ人形。「白木野人形送り」で知られる白木野地区民の手で作られたこのワラ人形は、今年も無事に衣替えを終えました。

今年の作業は４月１日に行われ、人形送りの風習を受け継ぐ白木野地区の５人の“匠”が作業にあたりました。

３日ほどをかけそれぞれの部位ごとに衣装の部品を作り、同日は１年間風雪にさらされて黒ずんだ古い衣装を手際よく脱がせて、声を掛け合いながら１日で衣替え作業を完成させました。１年ぶりにその衣装を外されたワラ人形は、真新しいワラで作られた衣装を身にまとい、りりしい姿で町民のほか、町内を訪れたすべての人の安全を見守ります。

匠により手際よく作業が行われました

交通安全はみんなの願い

小学生交通安全作文コンクール表彰

加藤会長から賞状を受け取る橋場くん

平成25年度小学生交通安全作文コンクールの入選者表彰式が、４月13日に沢内バーデンで行われました。

作文コンクールは、北上地方交通安全協会沢内支会（加藤保典会長・新町）が行ったもので、28作品の応募があり、低・中・高学年の３部でそれぞれ最優秀賞・優秀賞・佳作の入選作品を選び、10人の児童が表彰を受けました。

このうち、低学年の部では、先生が読んでくれた本のはなし、お友達のこと、お父さんから聞いたことから交通安全で自分ががんばりたいことを作文にした、橋場岳穂君（沢内小学校２年）の作文が最優秀賞に入選しました。

備えあれば憂いなし、東日本大震災を教訓に

町婦人消防協力隊連絡協議会総会

町婦人消防協力隊連絡協議会（熊澤優子会長・左草）の総会が４月16日、太田老人福祉センターで各地区の婦人消防協力隊代表者など約40人が出席して行われ、平成26年度事業計画や任期満了による役員改選について協議されました。

事業計画は、「備えあれば憂いなし、東日本大震災を教訓に今後の災害に備える」を重点目標と定め、地域ぐるみでの防火防災を目指した活動を展開することを決定しました。

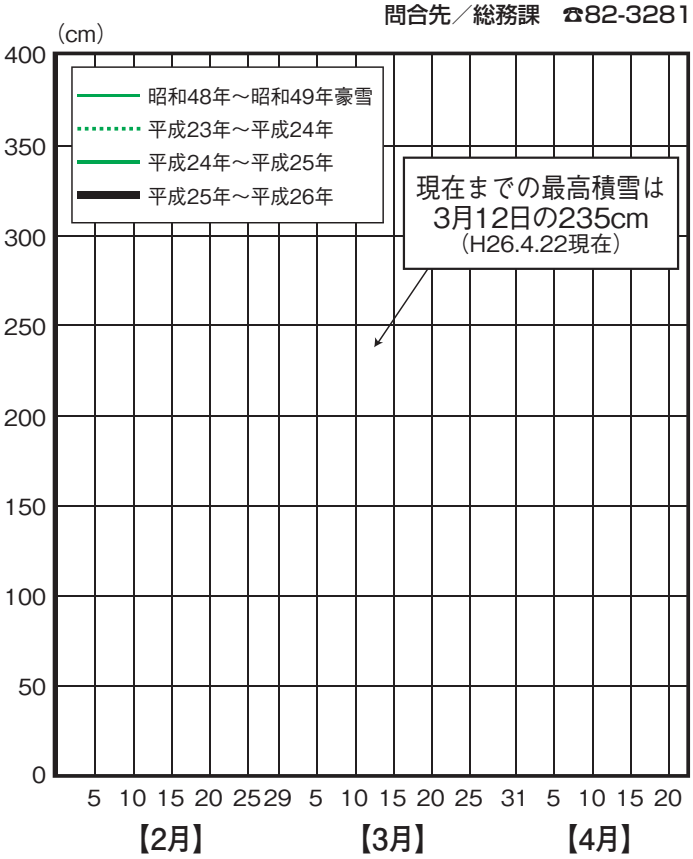
熊澤会長の後任には、佐々木雪恵さん（太田）が選ばれ、会長就任にあたり「隊員皆さまの協力により、消防団と連携した地域防災活動に努めていきたい」と決意を述べました。

旧役員の皆様お疲れ様でした

積雪調査結果

西和賀町では、町内１か所（川尻地内）で独自に積雪量を観測しています。場所は湯田庁舎付近です。調査結果は独自のものなので、テレビ報道や新聞報道とは数値が違う場合があります。

問合先／総務課　☎82-3281



協働推進フォーラム
－なんとかするべ西和賀町－

少子高齢化などによる急激な人口減少や地域経済の低迷など、本町を取り巻く状況は厳しさを増しています。このような中、この町を維持し、住みよい地域をつくり上げていくには、地域に暮らす住民自身が、行政や関係機関と協力しながら主体的に課題解決に取り組むことが大切です。この協働によるまちづくりを考える機会として、次のとおりフォーラムを開催します。どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

○日　　時　平成26年５月13日㈫
　　午後６時30分～８時
○会　　場　沢内バーデン〔入場無料〕
○基調講演
　演題　生き残れるか西和賀町
　講師　岩手大学農学部教授　広田純一 氏
　　（NPO法人いわて地域づくり支援センター代表）
○事例発表
　繋の里づくり委員会
　川舟区運営協議会

◆問い合わせ先／政策推進室　☎82-3282

かたくり日記
平成26年4月

細井洋行

まだ厚い雪の下から、かたくりの呼ぶ声が聞こえそうな陽気にうっとりとしているこの頃です。広葉樹林が織り成す自然の営みの姿を、将来の西和賀の財産にしたい・・・360度の視界すべて広葉樹・・・夢は実現への第一歩。

平成26年度がスタートしました。新たな体制で仕事に向かいますのでよろしくお願いします。

北村道彦新病院長は、町内各地域を回って懇談し、地域医療の現状を把握したいとのことです。皆さん自身の「健康」への取り組み姿勢など、お話いただければ幸いです。

4月8日、県立西和賀高校の入学式に出席しました。50名の新入学生を迎え（昨年は35名）激励しました。西和賀町が応援する「西和賀高校魅力化事業」もスタートしましたが、今後メニューを追加し、さらに充実していきます。体験活動として、広報「にしわが」の編集や、「ひかり放送」の番組制作にも参画していただければと期待しています。

3月23日、東京で開催された「沢内ふるさと会」に出席しました。100人を越える出身者の方が参加されました。私は、挨拶で「ここにいる皆さんは出身者で心強いが、お子さん、お孫さんは故郷から遠い存在になっていませんか？そのことが気になります」と訴えました。

ベストセラーになった『里山資本主義』の著者、藻谷浩介さんは、共同通信社のインタビューで「人口が減り続ける日本全体が今や限界国家。山奥から東京へ出て、職もなく、生活保護を受けるほうがリスクは高い」。「限界集落」という言葉が使われ出してから、これが意外に強さを発揮しているなどともいわれていますが、「しなやかな日本列島をつくる解決策は地方にある」とも話しています。

感謝

第34回河北新報錦秋湖マラソン 5月25日(日) 10時号砲

事務所の看板を掲げる細井町長（左）と菊池一治観光商工課長

4月8日、第34回河北新報錦秋湖マラソンの事務所開きが行われました。湯田庁舎3階に実行委員会事務局が設置され、本格的にマラソン大会の準備が始まりました。

事務所開きにあたり、大会会長の細井町長は「今年もたくさんの申し込みをいただいている。今年は湯田ダム錦秋湖50周年です。大会を盛り上げてくれるゲストランナーは、公務員ランナーの川内優輝さんを迎えることになっています。記念事業を企画しながら記念すべき大会としたいので、関係機関ならびに町民の皆さまから協力いただきながら、大会運営に万全を期したい」と大会成功に向けた意気込みを話していました。今大会には、全国から多くの選手が集まります。事務所開きの時点では2287人の応募がありました。町内からも20人が参加する予定ですので、沿道でのご声援をお願いします。この大会は500人を超えるボランティアの協力のもと運営されています。

マラソン大会は、湯田庁舎前の国道107号で30キロとハーフが午前10時スタート、5分遅れで10キロがスタートします。

川内　優輝さん

湖水まつりは前日の24日

大会前日の5月24日㈯には町役場湯田庁舎周辺を会場に、第34回錦秋湖湖水まつりが行われます。さまざまなイベントのほか、20時からは恒例の花火打ち上げがあります。皆さんお誘い合わせのうえおいでください。

◆問い合わせ先／（マラソン）河北新報錦秋湖マラソン実行委員会事務局（観光商工課内）☎(82)3290
（湖水まつり）湖水まつり実行委員会事務局（西和賀商工会内）☎(82)2270

みんなのページ

「みんなのページ」は、皆さんからの情報やお便り、旬の情報を紹介していくコーナーです。

深夜の助けに感謝

3月28日23時30分ごろ、盛岡からの帰宅途中、秋田県の自宅へ向かうため湯田から小繋沢に抜けるアクセス道へ入りました。すると入ってすぐに、道路上で陥没している箇所にタイヤがはまり、パンクしてしまいました。

夜も遅く、明かりも無い状態で周りは真っ暗。とりあえず街灯がある場所までなんとか車を走らせました。運転手の孫娘と私の二人は深夜の暗闇の中、その場所を通る車に助けを求めたものの、止まってくれませんでした。

地元の車屋さんにも電話したのですが、1時間以上はかかると言われ、スペアータイヤがあるはずだからと、その場所を教えてもらいました。しかし、孫も私もタイヤの交換をしたことがなく途方にくれていたところ、車の明かりが見えたのでなんとか止まってもらおうと、二人で必死に手を振りました。その車は止まってくれ、40～50歳代の男性がタイヤを交換してくれることになりました。その後まもなく、もう1台の車が止まり、20代の若い男性2人も交換を手伝ってくれました。

交換を終え、若い人たちはすぐにその場を立ち去ってしまい、最初に止まってくれた男性も帰り支度に入っていましたので、お礼をと少しばかりの気持ちを差し出しましたが受け取らず、名前も住所も教えてくれませんでした。その日は、東京出張の帰りとのことでしたし、若い人たちとも顔見知りのようでした。ただ一言「沢内だ」と言って立ち去ってしまいました。

あの日の出来事は忘れられず、何とかお礼をしたくて、沢内の役場に電話したところ、広報に投稿欄があるとのお話を聞き、投稿させていただきました。あの日私たちを助けてくれた方がもしこの記事を読まれましたら、是非、ご一報をいただければ幸いです。

本当にありがとうございました。

横手市中央町　高橋（たかはし）けい子

おたより随時募集

【応募内容】不思議な体験や代々言い伝わる話、自慢のペットや料理の紹介、季節の思い出などのほか、意見や要望などなんで構いません。
【応募方法】住所・氏名（匿名・ペンネーム可）・年齢・電話番号をお書き添えのうえ、ハガキ、封書、ファックス、メールなどで下記の宛先までご応募ください。
【応 募 先】〒029-5512　岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71
西和賀町役場広報係まで
ファックス番号／82-3111
電子メール／soum@town.nishiwaga.lg.jp
【そ の 他】
○応募いただきた写真や原稿などは返却しませんのであらかじめご了承ください。
○応募いただいた記事等については、広報編集委員会で検討させていただく場合があります。
○皆様からの投稿に際して取得した個人情報は、本誌の編集目的のみに使用します。

◆問い合わせ先　総務課　☎82-3281

お知らせ

役場から

西和賀町臨時職員を募集

町は次のとおり臨時職員を募集します。

長原牧場牧夫

●**募集人員**／1名
●**採用期間**／6月～11月（土日交代勤務有）
●**条件**／平成26年4月1日現在で高校を卒業しており65歳未満、普通自動車免許取得者
●**申込期限**／5月16日㈮
●**申込・問合先**／農林課☎(85)3415

登山道刈払等作業員

●**募集人員**／1名
●**採用期間**／6月中旬～10月上旬
●**賃金形態**／日給8000円
●**条件**／平成26年4月1日現在で高校を卒業しており65歳未満、普通自動車免許取得者
●**申込期限**／5月16日㈮
●**申込・問合先**／観光商工課☎(82)3290

6次産業化チャレンジ支援事業補助金の募集

西和賀町の特性を生かした6次産業によるまちづくりを推進するため、町内の事業者が生産、採取した農林水産物を活用した加工品開発、販売等に取り組む事業に助成します。6次産業推進センターでは、申請書の記載にあたり不明な点や、取り組もうとする事業の内容等についてもアドバイスいたしますので、お気軽にご相談ください。

●**補助対象者**　集落営農組合、3戸以上の農業者で組織する農業者グループ、農業法人など
●**対象経費**　農林水産物を用いた加工品の製造及び販売に取り組むために必要な経費
●**補助金額等**　1団体当たり20万円を限度、継続は3年間を上限（3年間の補助金交付が保障されるものではありません）
●**申請書の配布場所・提出先**　西和賀町役場湯田庁舎（政策推進室）、沢内庁舎（町民課）、6次産業推進センター（申請書は西和賀町のホームページからもダウンロードできます）
●**締め切り**　5月16日㈮
●**問い合わせ先**／西和賀町6次産業推進センター（湯夢プラザ内）☎(81)1185

「新しい事業活動」を応援します！

【新ビジネスチャレンジ補助金】

●**概要**／中小企業者、個人事業者の「新しい事業活動」に必要となる経費を助成することにより、新ビジネスへのチャレンジを応援します。
●**対象事業**／①研究開発事業（新製品、新商品、新技術又はビジネスモデル開発を行う事業）②販売促進事業（新事業創出時に行うマーケット調査や展示会等への参加、商品パンフレットの作成等に取り組む事業）③知的財産権等取得事業（特許、実用新案、意匠及び商標の知的財産権の取得に取り組む事業）
●**補助率**／補助率100％以内（ただし、予算の範囲内の額となります。）今年度は予算総額100万円です。採択事業が多いなど予算額を分割するときは、補助率が100％より小さくなる場合があります。
●**補助限度**／①研究開発事業100万円以内②販売促進事業50万円以内③知的財産権等取得事業25万円以内
●**応募方法**／観光商工課へ問合せいただき、個別相談を行います。対象事業となる場合は、申込み書類の提出を依頼します。発表会で事業内容等を説明（プレゼン）して頂きます。※発表会の評価により、補助する事業を決定します。
●**応募締切**／5月23日㈮
●**問合先**／観光商工課☎(82)3290

火入れに係る届出

農作業が本格的に始まり、これに伴って焼畑等の火入れ行為を行なう機会が多くなってきています。

山火事等火災の防止を目的として、焼畑等の火入れ行為を行なう際には、町に火入れをする1週間前までに、火入れ許可申請を提出し許可を受ける事が必要となります。

申請は沢内庁舎農林課または湯田庁舎税務会計課で受け付けています。

なお、火入れ規模の大小にかかわらず、火災の原因となる場合がありますので、火が燃えているうちは、責任者が現場で監視し、万が一延焼した場合に備えて消火器や水等を準備する事をお願いします。ただし、病害虫駆除または焼畑等以外で、庭の枯葉や枝等を燃やす場合等は火入れ許可申請の対象外となります。

また、風の強い日の火入れ行為は行なわないようにしてください。

●**問合先**／農林課☎(85)3415

錦秋湖マラソン出店者を募集

5月25日に開催される錦秋湖マラソンの会場で、出店を希望する団体、企業、個人は、会場設営やトラブルを未然に防ぐために事前申し込みが必要です。希望する場合は、5月9日㈮までに錦秋湖マラソン事務局へ申し込みをしてください。

なお、会場の関係から出店希望者が多い場合には、事務局で調整させていただきますのでご了承願います。当日の受付は一切行いません。

●**問合先**／錦秋湖マラソン実行委員会事務局（観光商工課内）☎(82)3290

熊に注意してください

雪解けが進み、山の緑も色づき始めました。例年町内で、山菜採りなどで山に入った人がクマに襲われるという事例が発生しているほか、多くの目撃情報も寄せられます。

山に入るということは、クマの生活圏に入るということです。クマはもともと臆病な動物で、人を避けて生活しています。最初から人を襲おうと思っていることはほとんどありません。ただ、狭いところに追い詰められたり、人とばったり出会ってびっくりしたときに、一撃を加えて逃げようとすることがあります。そこでクマに逢わないよう工夫することが大切です。

お知らせ

【クマに逢わない工夫】
○入山地域のクマの出没情報を収集し、危険な場所には近づかない。
○クマの行動が活発な朝夕や霧が出ているときの行動は避ける。
○鈴、笛、ラジオなど音のするものを身につけ人の存在を知らせる。
○クマのフンや足跡を見つけたら引き返す。
○子グマを見つけたらそっと立ち去る。

【もしクマに遭ったら】
○あわてず、騒がない。
○急に立ち上がったり、物を投げつけたり、背中を見せて逃げたりしない。
○クマの動きを見ながらゆっくり後退する。

【クマを引き寄せないために】
○野山に生ゴミを捨てたり野生動物に餌を与えないでください。味を覚えたクマは、やがて人里周辺まで接近し被害を与える可能性があります。

●**問合先**／農林課☎(85)3415

若年者の町内就職を支援します

「西和賀町若年者ふるさと就職支援事業制度」をご存知ですか。若年者（町内に住所を有する満15歳以上25歳未満の人。ただし、東日本大震災の被災された人を雇用する場合は、満40歳未満まで対象）が町内の事業所に就職した場合、定住するための費用や若年者を雇用した事業主が支払う賃金等に対し、若年者には12ヶ月以内、事業主には6ヶ月以内（ひと月あたり若年者1万円、事業主2万円）で交付金を助成することで、若年者の町内定住と事業所への定着を支援する制度です。この制度に該当すると思われる事業所はご相談ください。

●**問合先**／観光商工課☎(82)3290

無料職業紹介所の利用を

役場観光商工課内に「無料職業紹介所」を設置し、求人・求職の紹介やあっせんを行っています。お気軽にご利用ください。

●**問合先**／観光商工課☎(82)3290

国や県から

多重債務相談窓口のご案内

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱えたお悩みの相談に応じています。相談は秘密厳守、無料です。お気軽にご相談ください。

●**相談日**／月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
●**相談時間**／8時30分～16時30分
●**相談専用電話番号**／☎019-622-1637

岩手県スポーツ推進審議会委員の公募について

県では、スポーツ推進策に対する幅広い意見を反映するため委員の一部を公募します。

●**募集人員**／2名
●**受付締切**／5月9日(金)
●**その他**／詳しくはお問合せください。
●**問合先**／岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課☎019-629-6195

戸籍の窓

（敬称略）　3月16日～4月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

末永くお幸せに

須藤健太（貝沢）・坂下智美（貝沢）

ご誕生おめでとうございます

北島みなみ（女）友和（新町）

お悔やみ申し上げます

近藤ナカ	(88歳)	3月18日	猿橋	戸巻與吉	(80歳)	4月4日	清水ヶ野
山﨑行夫	(82歳)	3月18日	湯本	新田フヨ	(91歳)	4月5日	長瀬野
髙橋渉	(73歳)	3月24日	中村	高橋洋光	(69歳)	4月7日	川尻
髙橋利男	(89歳)	3月27日	巣郷	佐々木覓	(84歳)	4月7日	太田
中川和子	(88歳)	3月29日	川舟	小田島クニ	(90歳)	4月8日	新町
石川金子	(73歳)	3月29日	大野	照井フミ	(91歳)	4月12日	鷲之巣
石川正男	(61歳)	4月3日	泉沢	竹澤光藏	(88歳)	4月13日	間木野

住民の動き（3月分）

項目	実数	前月との比較
転入	18	＋16
転出	47	＋38
出生	1	－2
死亡	8	－2
人口	6,361	－36
男	2,971	－19
女	3,390	－17
世帯数	2,397	－2

交通事故の状況（3月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	22	1	0	0	0
累計	(51)	(3)	(0)	(0)	(0)

（　）は1月からの累計

火災・救急の状況（3月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	0件（1件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	3件（4件）	10件（35件）	6件（39件）	19件（78件）
搬送人員	4人（5人）	9人（33人）	6人（33人）	19人（71人）

（　）は1月からの累計

われら！いきいきクラブ!! vol.9

町内で様々な活動をしているグループ、個人を紹介していきます。

川尻一区 山百合（やまゆり）会　会長　髙橋　重三 さん

毎年楽しみの恒例行事は温泉旅行！齢（よわい）を重ねてもさらに楽しみを持ちながら、会員２５人で老人クラブ活動を行っています。

昨年の温泉旅行は、横堀温泉「小町のかくれ里」紫雲閣（秋田県湯沢市）へ２０人が行脚、その前年は鶯宿温泉、その前は金峰山温泉と、日帰りながらも足を伸ばして、温泉と親睦を楽しんでいます。

また、あやめ公園の草取りなどの奉仕活動やシニアスポーツ大会、取材前日もサロン会の花見で展勝地へ（北上市）。若い会員が少い心配もありますが、元気に楽しく活動している会です。

ホットほっとにしわが

「共生のヤマザクラ」

西和賀でも春を感じる時期となりました。春といえば桜。湯田地区の珍しい桜の木を紹介します。

樹径70センチくらいのナラの木に、12センチくらいと6センチくらいのヤマザクラが共生している共生木があります。このヤマザクラは、そばにヤマザクラがないので、ほかで鳥が食べたサクラゴの種から芽が出て育ったものと推測できます。

例年だと花が咲くのは五月はじめ。4月18日に確認に行って来ましたが、今年の大雪にも耐えた共生ヤマザクラは、ツボミがまだ小さく、少し遅い開花となる感じがしました。

（広報編集委員　髙橋　祐一）

4月18日撮影時（上）
数年前の満開時（左）

広報編集委員が町内を駆け回り、「にしわが」をお伝えします。

編集後記

４月は新しい年度を迎え、また入学や就職など新しいことが始まったり、変化がある時期。消費税が８％になり、広報にしわがも担当が変わりました。広報を読んで違和感を感じた鋭い人もいるかと思います。広報１年生、宜しくお願いします。

広報担当　内記　良伸

広報 にしわが
■発行日／平成26年4月25日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行・編集人／細井洋行　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK